# 文章表現論 Column Planet アンケート

本学初のＷｅｂ講義。どんな風に受講していただいたでしょうか。
来年度のために、ぜひ率直なご意見をお聞かせください。

**講義全体について……　□満足　□まあ満足　□やや不満　□不満**

**▽講義版(ロジカルライティング)とWeb版(自由投稿)に分けてみると**

**講義版　……　□満足　□まあ満足　□やや不満　□不満**

**Web版　……　□満足　□まあ満足　□やや不満　□不満**

**講義版とWeb版の比率　□現状のままでよい**
**□講義版をもっと多く**
**□Web版をもっと多く**

**▽達成感と負担感**

**自分の文章力(書く力・読む力・討論＆コメント)は向上したと思いますか？**

**書く力　……　□ずいぶん　□少しは　□全然**

**読む力　……　□ずいぶん　□少しは　□全然**

**討論＆コメント力　……　□ずいぶん　□少しは　□全然**

**ロジカル3本、Web2本の投稿、コメント5以上、という単位認定条件は？**

**……　□軽すぎる　□ちょうどよい　□重すぎる**

**▽Web版の新展開について**

**学外から一般参加者を迎えたことは**

**□良かった　□まあ良かった　□あまり良くなかった　□良くなかった**
**□特に意識しなかった**

**学生コメンテーターの活動については**

**□良かった　□まあ良かった　□あまり良くなかった　□良くなかった**
**□特に意識しなかった**

**[参考データ]**

| | 人数 | 投稿作品数 | コメント数 |
|---|---|---|---|
| 受講生 | 60 | 164 | 2073 |
| 一般参加 | 14 | 60 | 1084 |
| 学生コメンテーター | 12 | ― | 1643 |
| 計 | 86 | 224 | 4800 |

**▽全体の感想、講義やWebへの改善提案、思い出のできごと、苦言・応援なんでもどうぞ。**

**あなたは・・・□社会工学専攻 修士　□社会工学専攻 博士　□他専攻　□ひみつ**

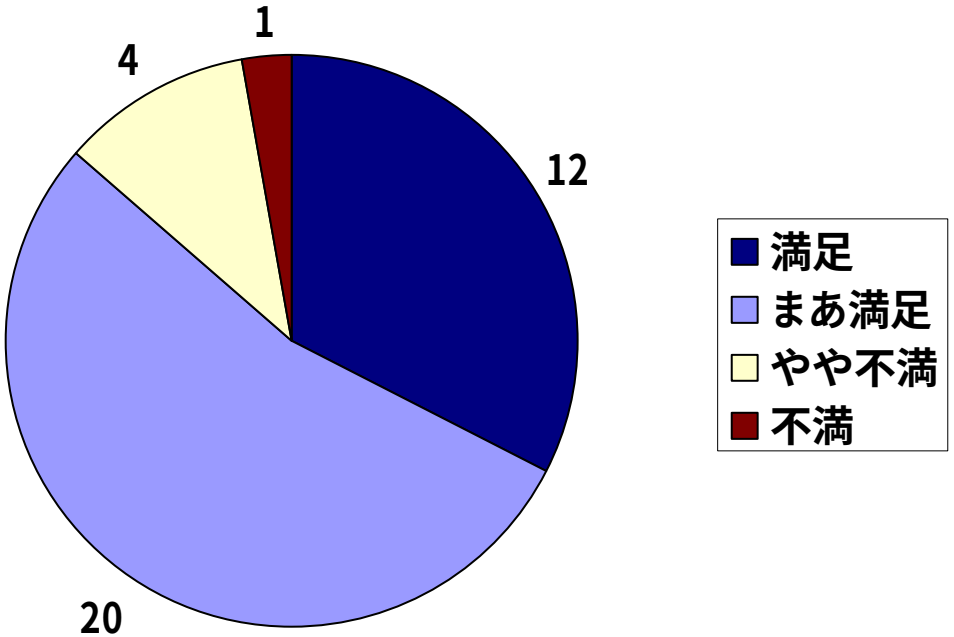
御協力ありがとうございました。結果はOCW上にてフィードバックします。

アンケート実施日　2月16日(土)　　講義版最終セッションにて

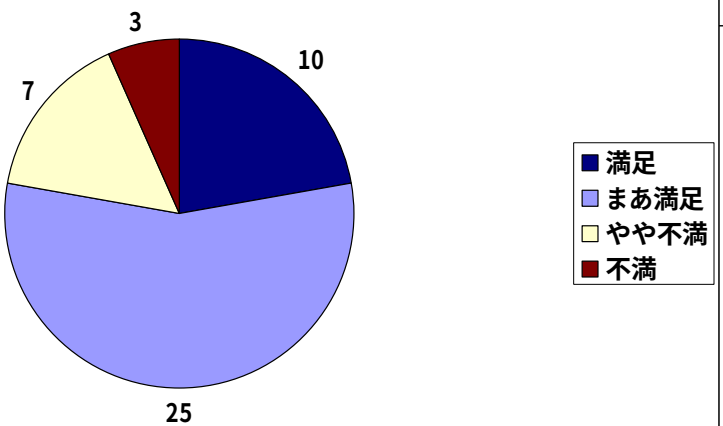
回答数　37名　(一般参加者を除く当日の出席者全員)

以下にデータ編と自由記述編に分けて、結果を御報告します。

**本年度**

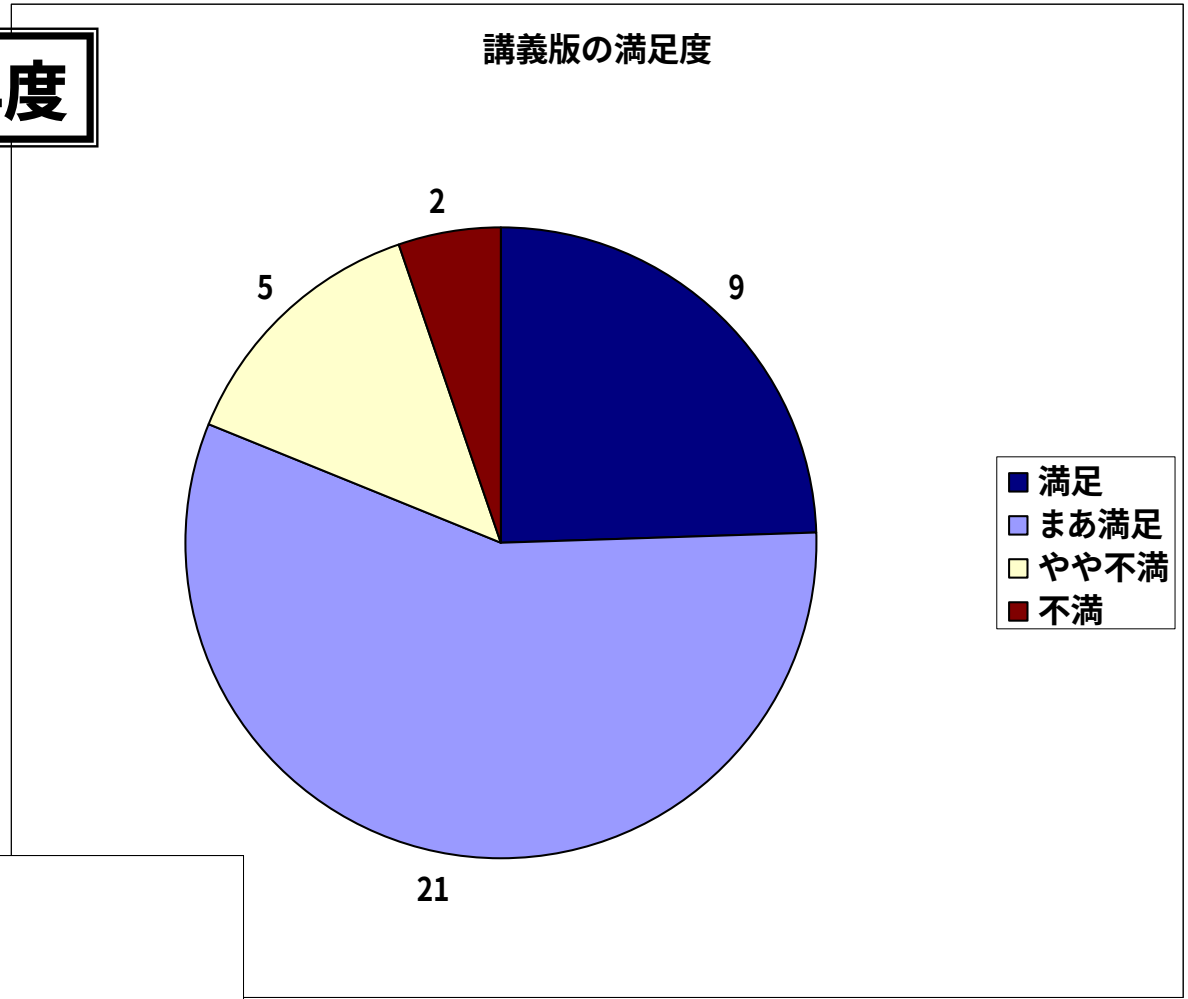



**昨年度**

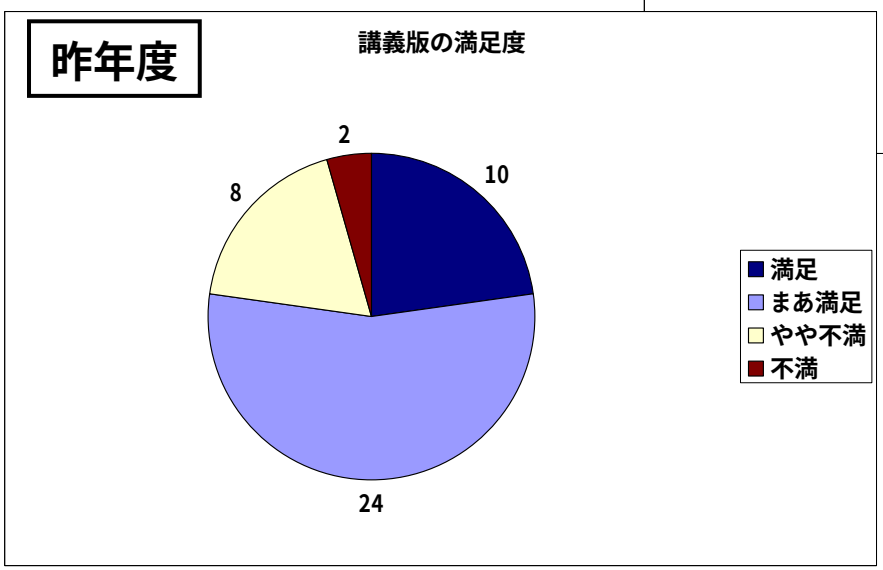



# 満足度UP！

**本年度**

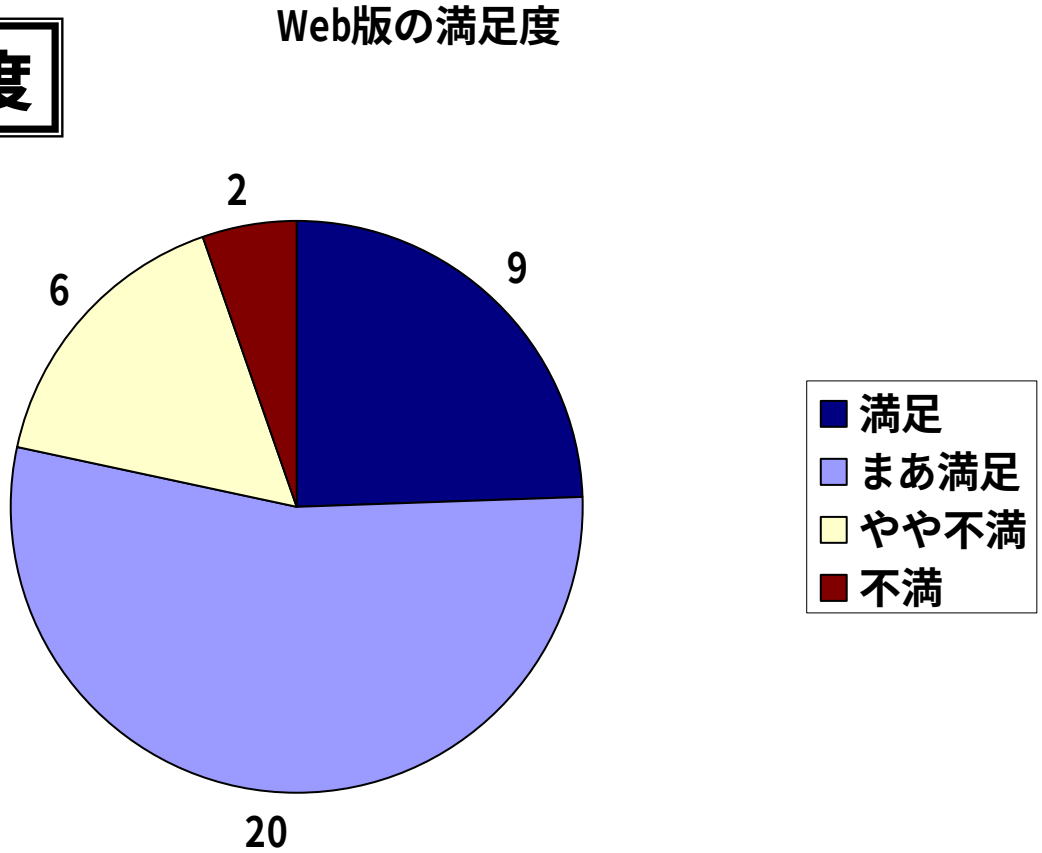



**昨年度**

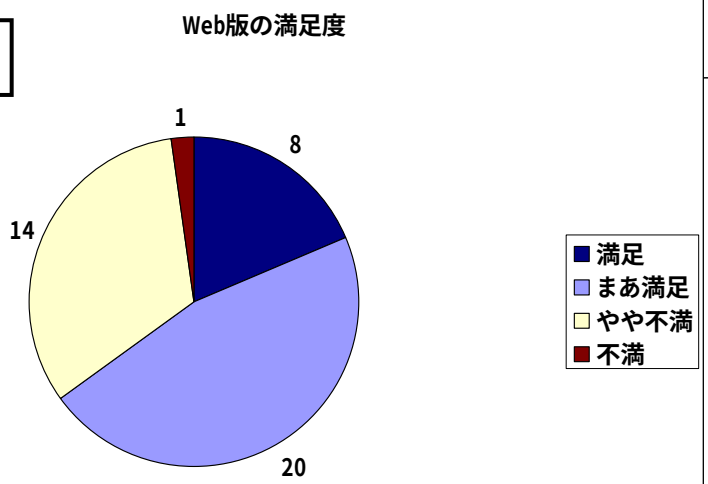



**ここは昨年並み**

**本年度**

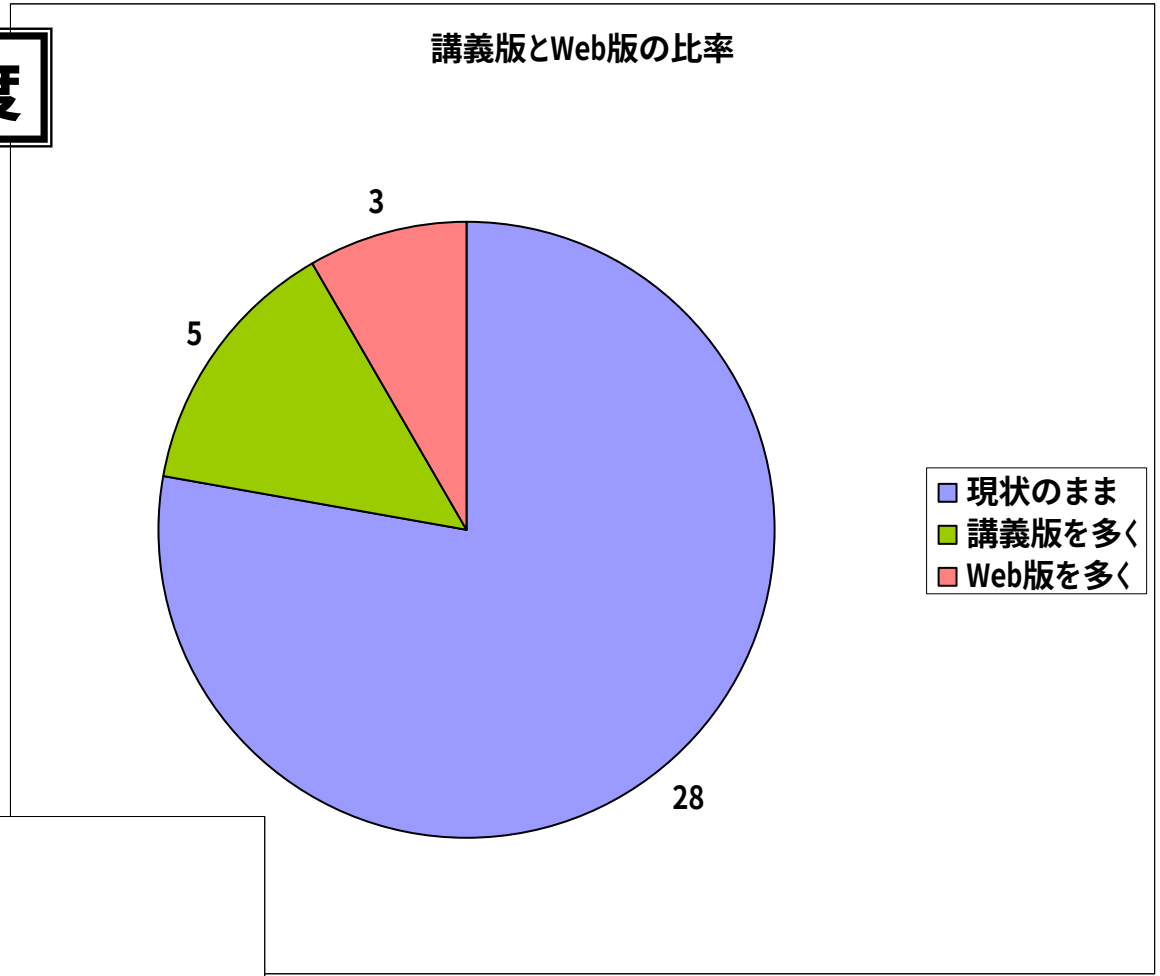



**昨年度**

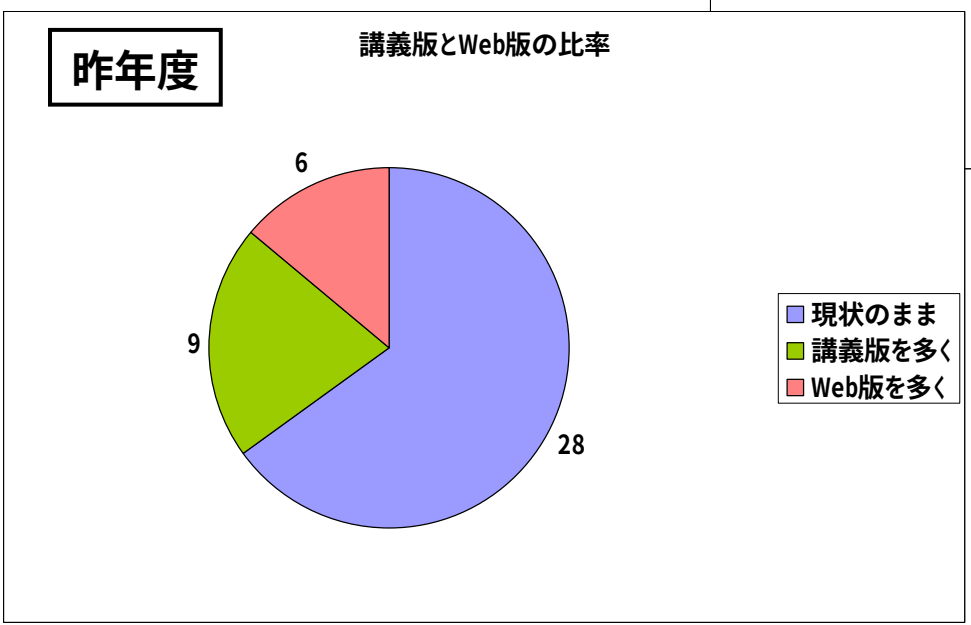



# Webの評価UP

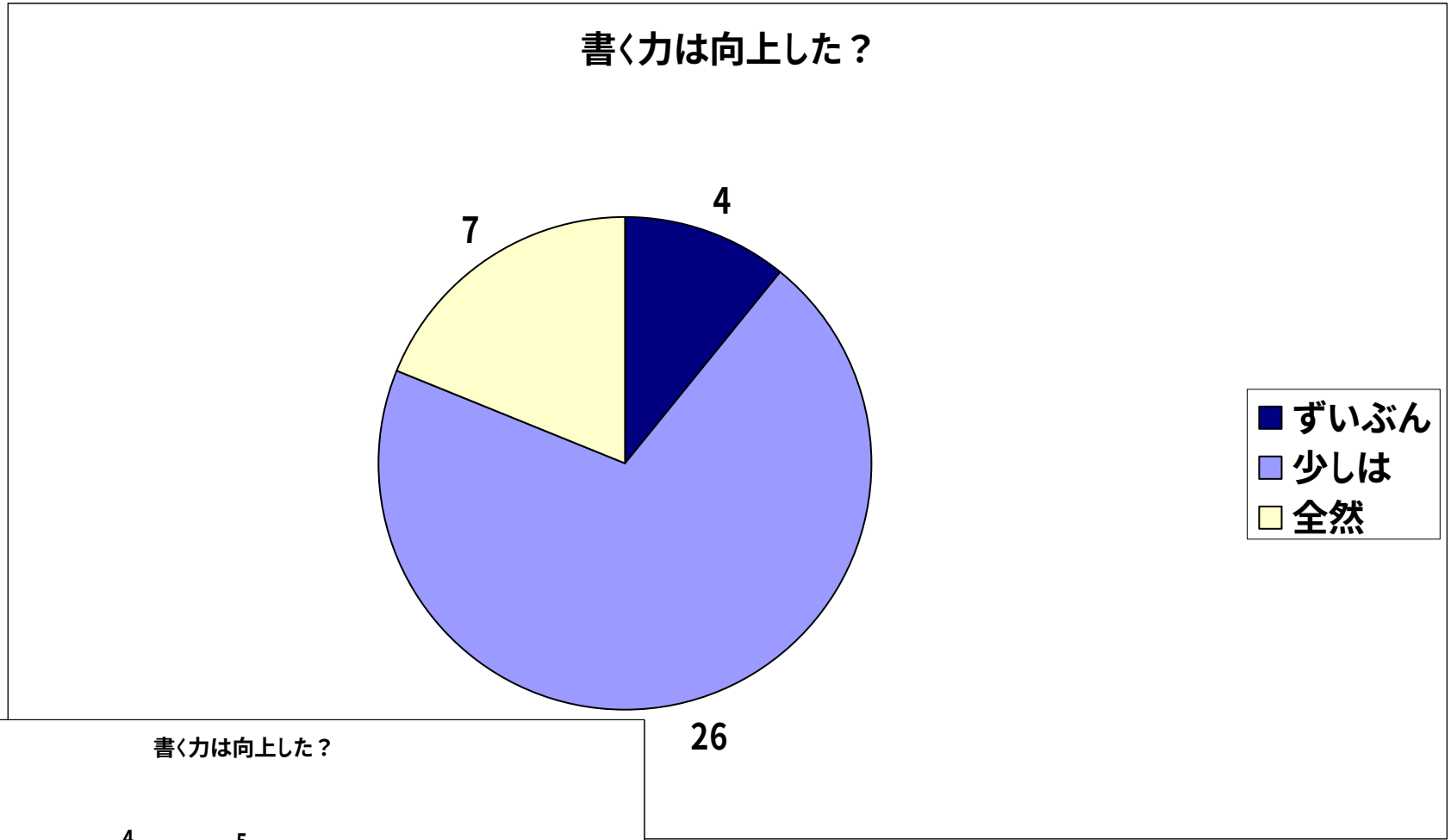
**本年度**

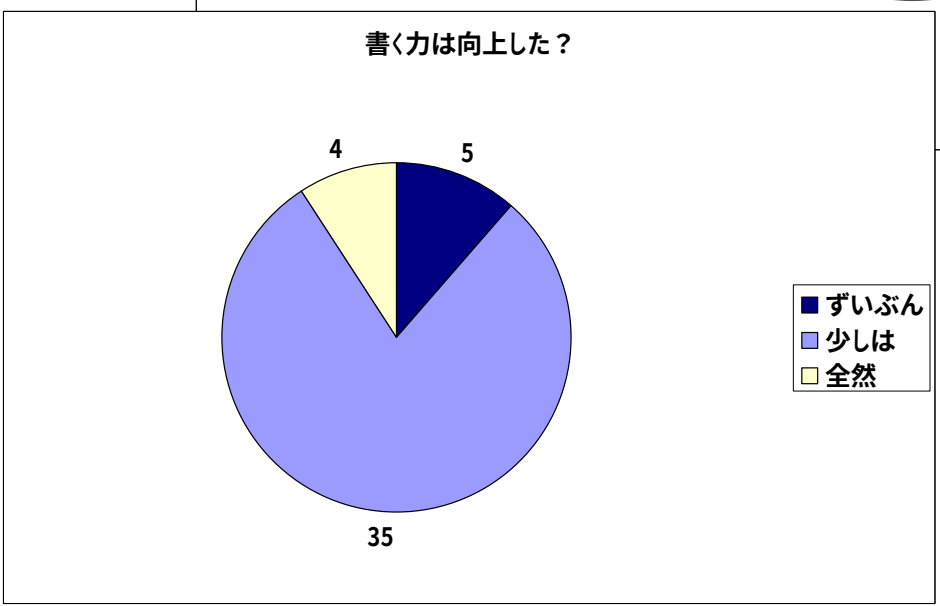



**昨年度**

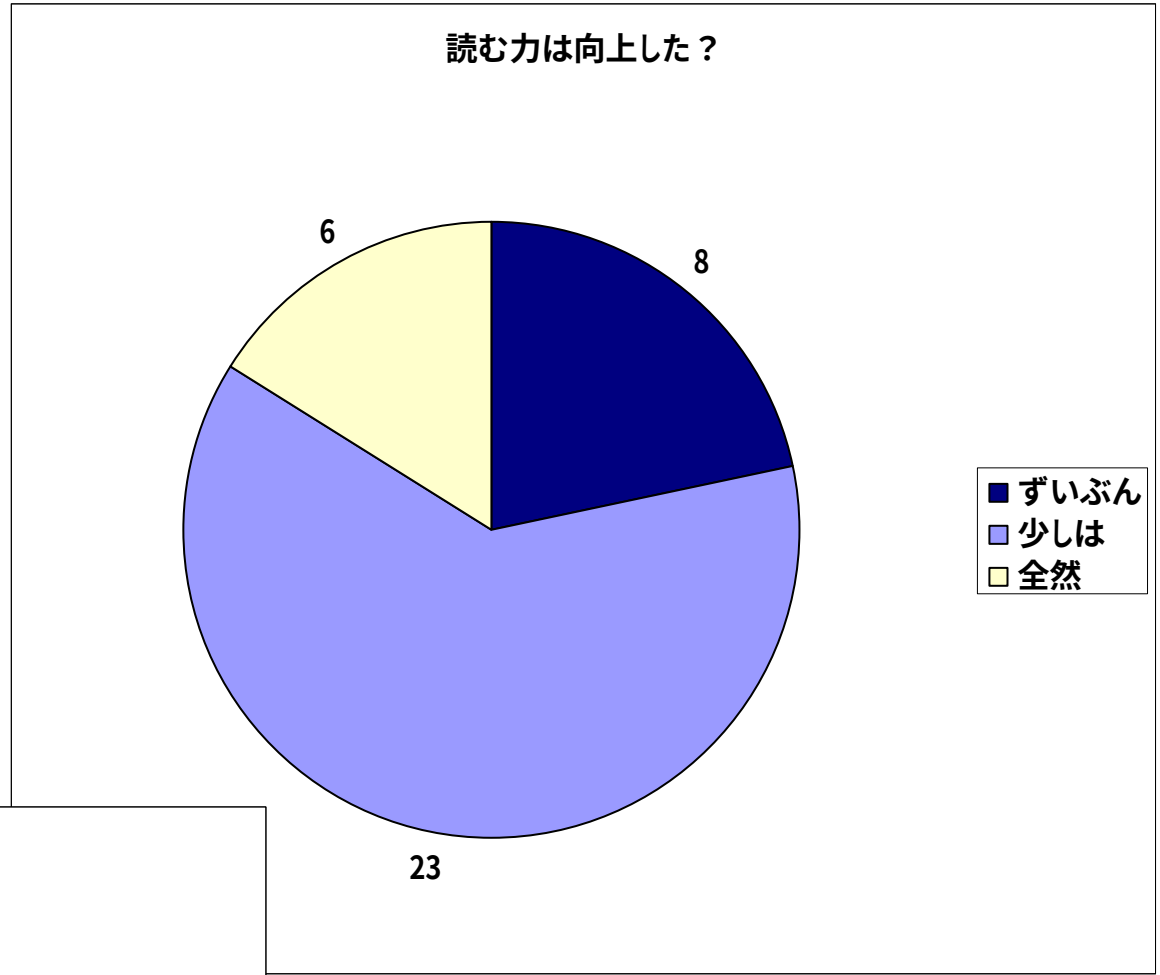


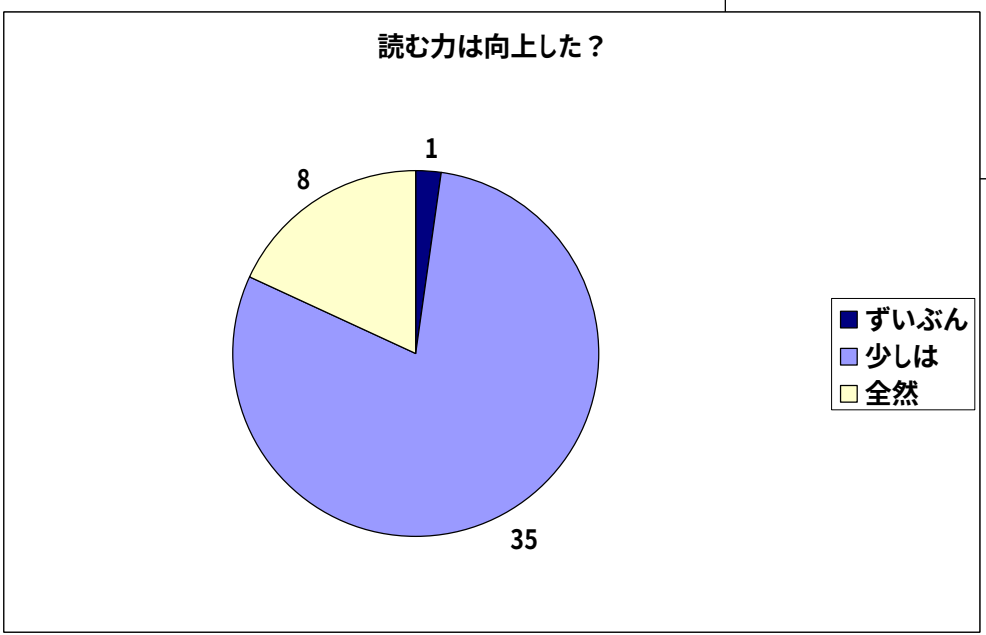

**ここも満足度UP**



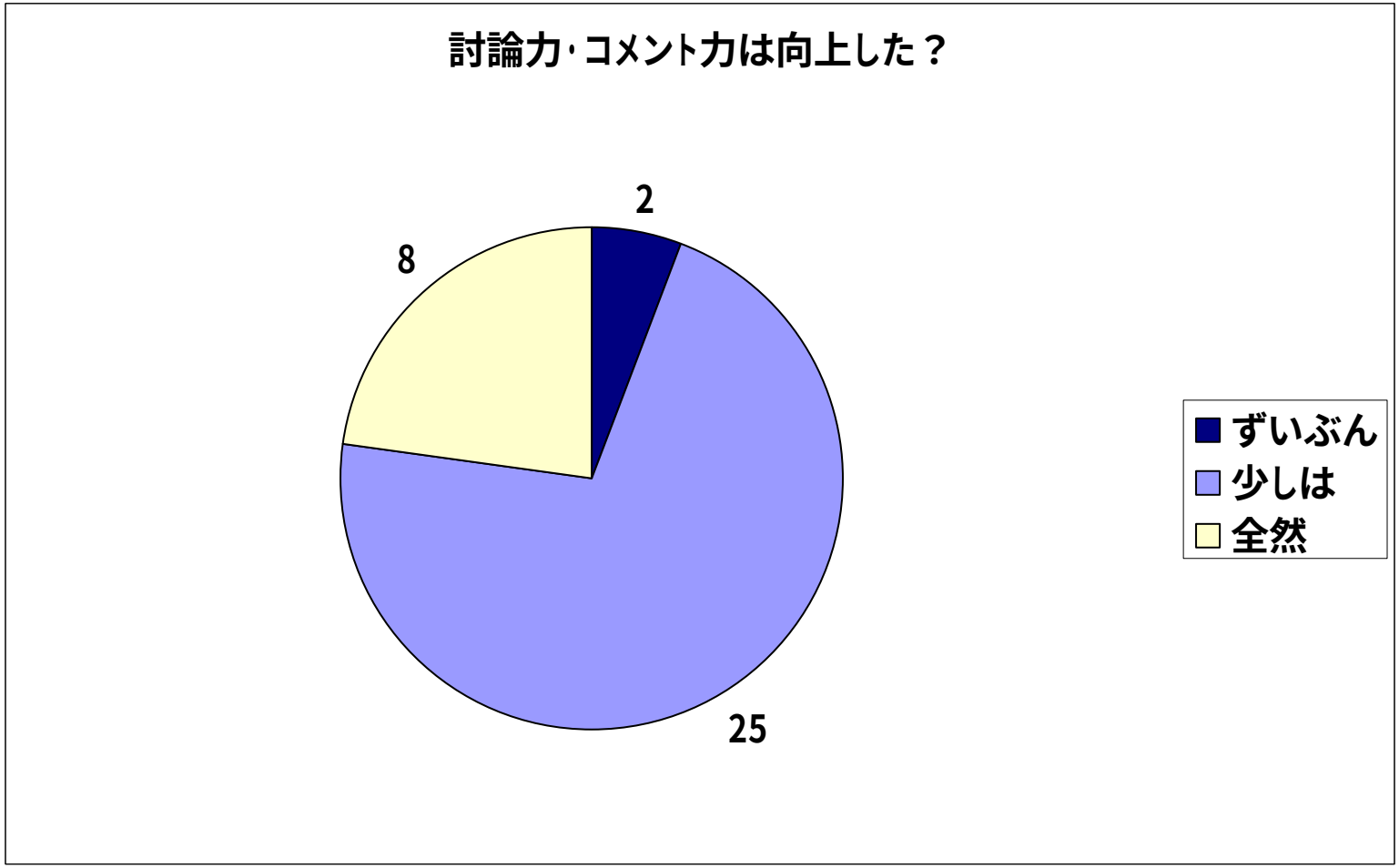




なかなか上達しないね～

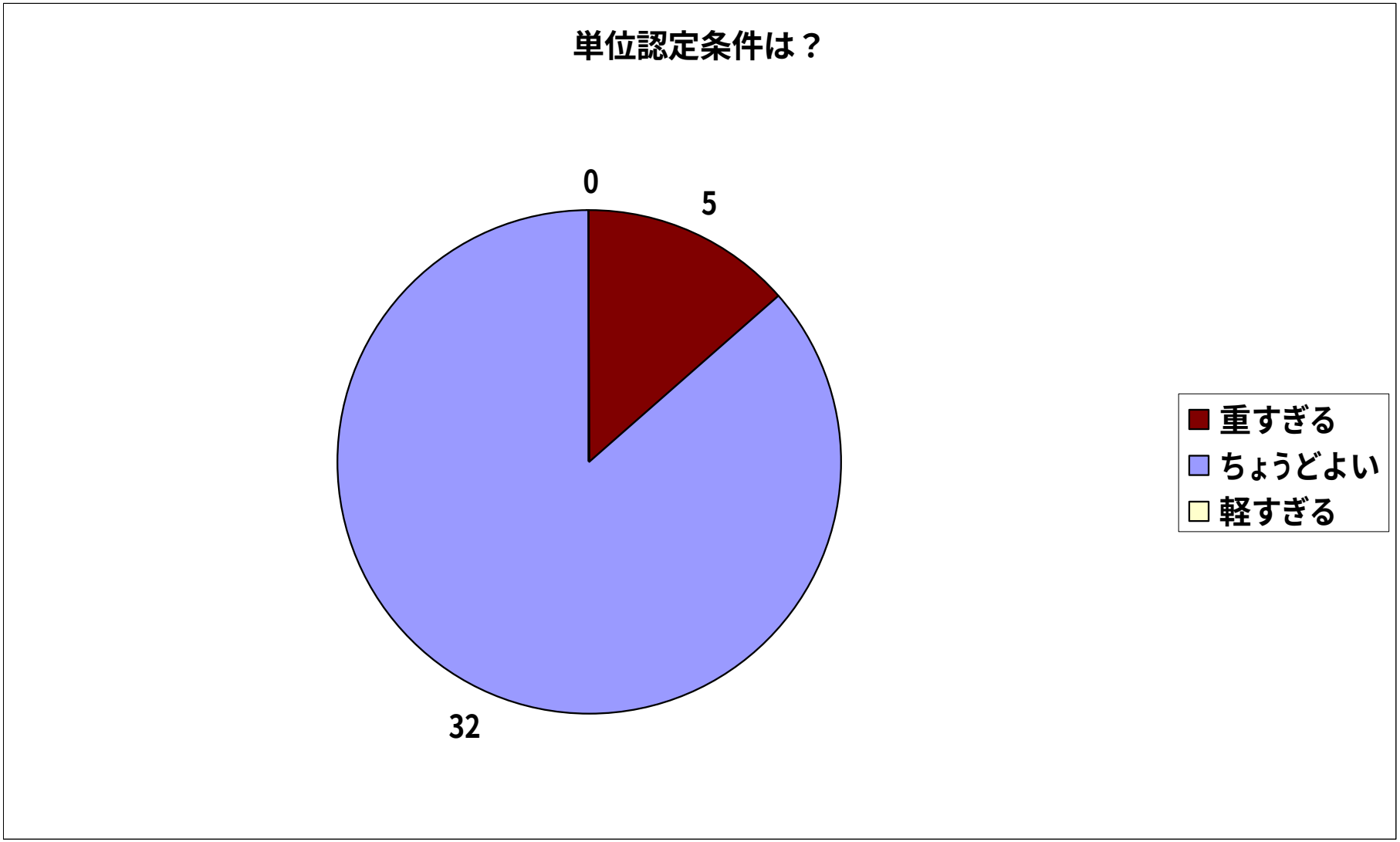


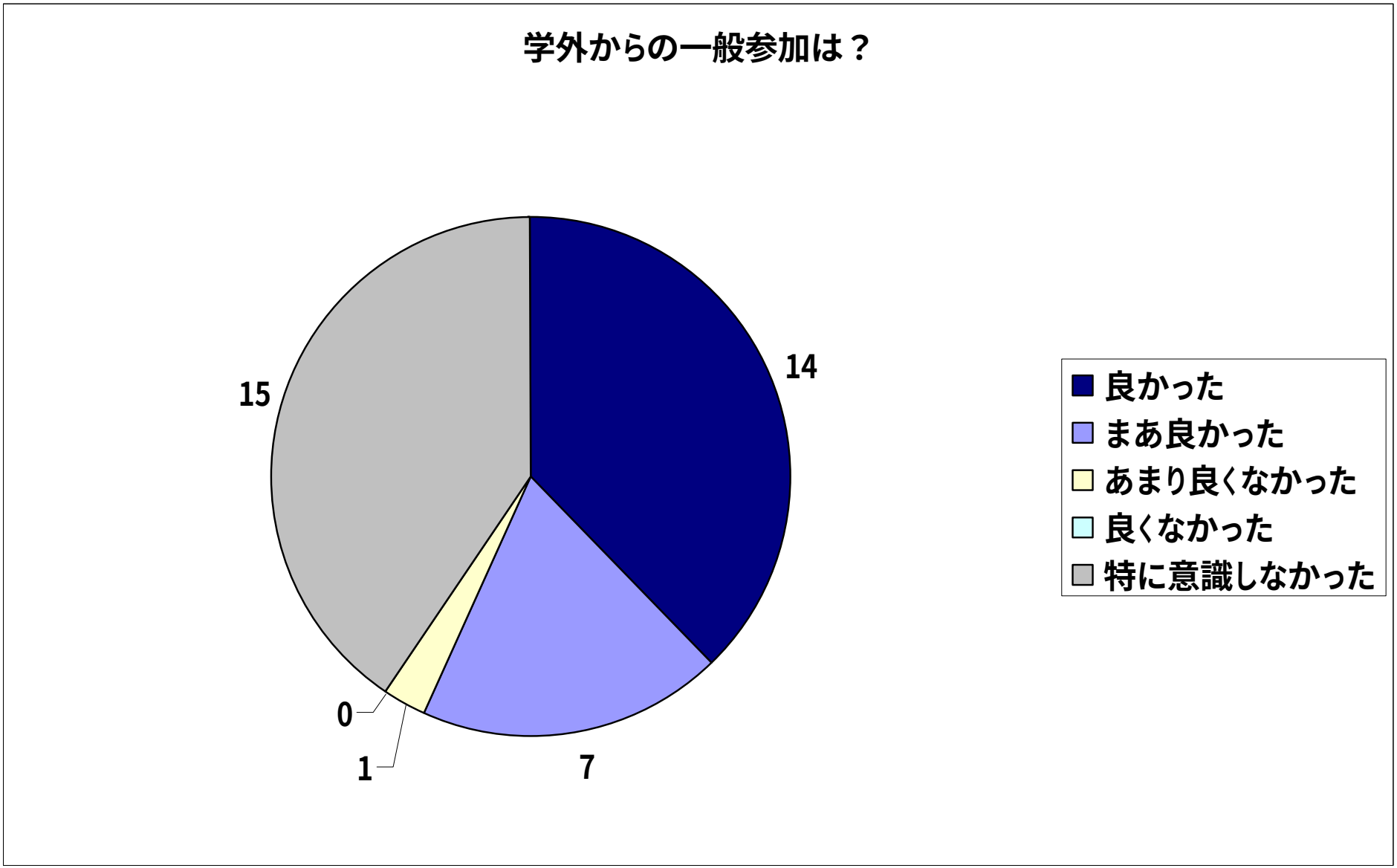

おぉ、こっちはアップ！




（以下の設問は今年初めて聞きました）

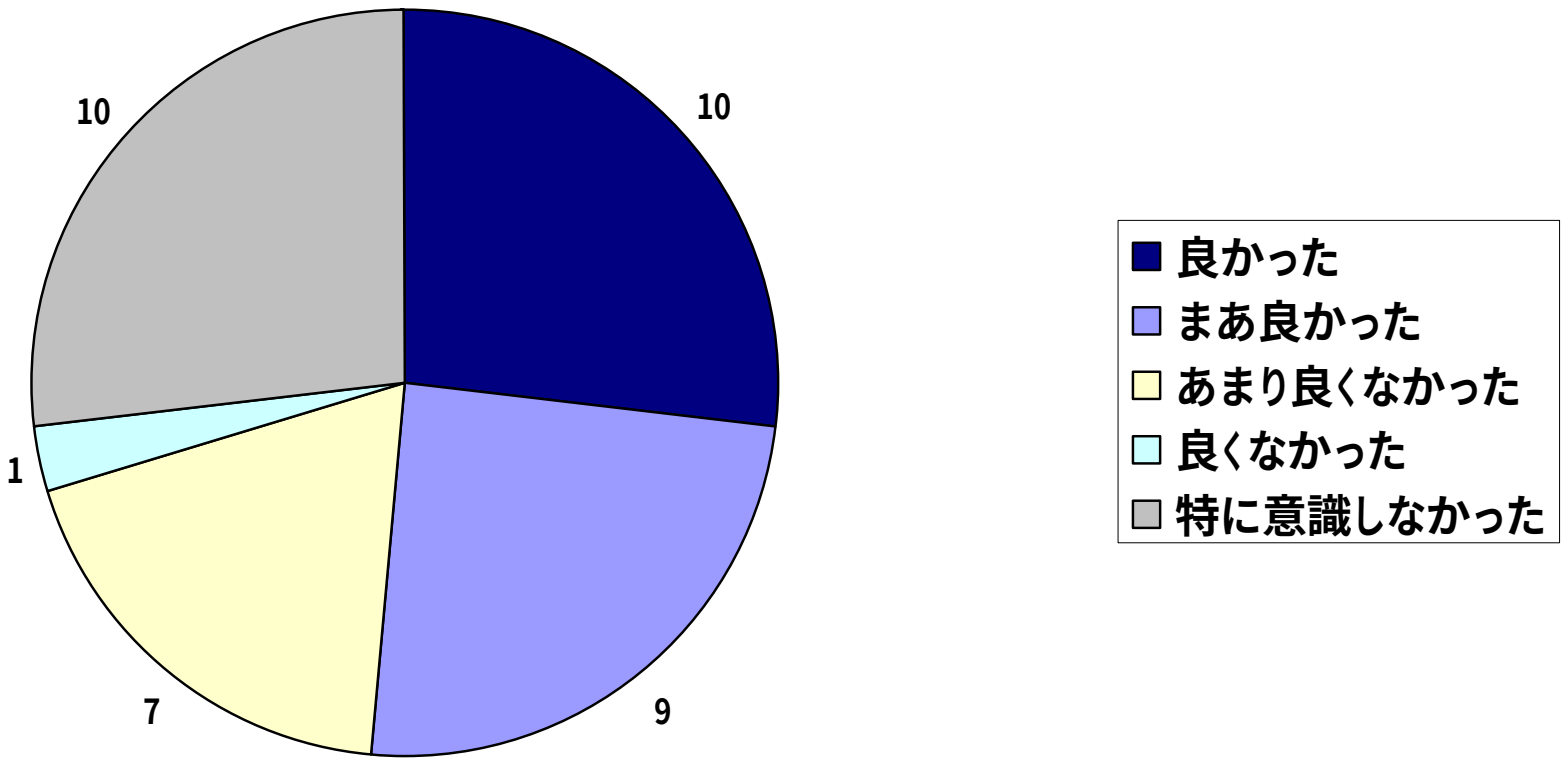



やや負担感ありか･･･


学外からの一般参加は？
14
7
1
0
15
良かった
まあ良かった
あまり良くなかった
良くなかった
特に意識しなかった

大成功のもよう

## 学生コメンテーターは？




おおむね好評、でも反省点も多々ありそう

## データ編の分析

うれしいことに、昨年より満足度がかなり向上しました。特にＷｅｂ版にそれが顕著です。

また、「書く力」はなかなか向上しないけど、「読む力」が付いたと自覚してくださった受講者さんが格段に増えたのが注目されます。ロジカル・ライティングで 20 作品ムチャ読みしたり、Web 版コンテストで 50 作品タテ読みした経験が生きてくれるといいなと思っています。

学外から一般参加のつわものさんをお迎えしたことは、場の活性化にとって良かったとみなさん評価してくださったいっぽうで、学生コメンテーターの活動については、一部にネガティヴな評価も出ていますね。初めての経験、彼らなりにがんばってくれたとは思うのですが、文章を批判することは、どんなに限定的に書いても、必ずどこか書き手の人格に触れてしまう面を持つので、反省点もあろうかと思います。

ほかにグラフに現れない分析結果をいくつか。

◇学生コメンテーターへの不満を表明したのは、社会工学専攻の修士・博士つまり必修としてこの講義を履修しているグループのみ。このグループはＷｅｂ版への満足度も低い。
◇他専攻 12 名のうち講義全体が「満足」なのは 9 名と非必修組の満足度はとても高い。まあ好きで来てるんだからあたりまえか。

## 自由記述全書き起こし　（お返事を青字で入れました）

なんと 37 名中 22 名ものかたが、自由記述欄に書き込んでくださいました。

これもこの講義の成果か・・・

**良かった**

□ 定期的に文章を書くという訓練になって良かったです。自分の考えを文章に表現することは、続けることが大切なのだと思いました。
□ 自分の文章に対し生でコメントを聞けるというのが、大学に入ってからあまりなく、とても嬉しい経験でした。
□ 自分の文章を客観的にみる機会がないので、楽しい経験でした。本当に手間のかかるプログラムだと思います。
□ Ｗｅｂで自分の作品にコメントがついていったのはうれしかったです。
□ Web版だと、講義版で言えないような意見を自然に言えてとても良かったと思います。
□ 班の中での役割を決めて、司会、要点の筆記、発表ｅｔｃ．グループワークの力を養うことが出来たのではと、思います。「こんな授業がある」と家で話すと、母も参加したいと言っておりました。おもしろい授業、新鮮でした。

土曜日授業ということも…。

□ ロジカルライティングは勉強になりました。毎回評価基準を意識させられるのが、投稿前ではなく、講義時にそろった時点だったのが気になりました。そのため、異種格闘技になった回もありました。評価基準を投稿前に強調していただけると、同質の中で違いを楽しめるかと思います。

→たしかに！　来年度、必ず改善します。

□ おつかれさまです。ありがとうございます。おや？と思うコメントがあったのも事実なので…

□ 期日のお知らせメールが助かった。

□ 「どげんかせんといかん」、エントリーシートのため書けませんでした。コラムランドから含めて初パスです。でも気楽に講義に参加できて、最後の最後にいい経験をできたかなと思います。（ちなみに「どげんかせんといかん」で、某テレビ局の筆記は通りました）

→おめでとう！

**講義運営について**

□ 講義版とＷｅｂ版の締め切りがコンスタントにあったので、私は苦労しました。

□ 講義版が３本以上はきつかったです。Ｗｅｂ版と合わせて５本というのはどうでしょう。でも講義版が少なかったりしたら困るか…。

□ 後期は忙しいから、前期がいいと思う。どうしてもやっつけになってしまう。

→負担が重いというより、メンドーという印象だったのかもと振り返っています。書く義務を減らすとけっきょく書かずに終わって、何ら向上しないので、来年度は講義日を土曜日でなくウィークデーに引っ越して就活組のたいへんさを軽減したいと考えています。

□ 成績評価が明確なのは、とても有難いですが、作品の出来が評価にどのくらい影響するのが不明だった。

→「書くこと」がたいせつなので、作品の出来や順位はいっさい問いません。コラムランド以来の一貫した精神です。

□ 基準１００点への修正が軽すぎる。私も助けられた１人ですが、Ｗｅｂ版のノリがロジカルの講義にも後半移ってきた印象を受けた。

□ Ｗｅｂコラムはマスコミ向けＥＳ対策っぽいと思います。講義版はロジカルライティング派とネタ派が混ざって正直評価のしようがないです。

→たとえネタであっても、文章の整合性に着目してロジカルに評価することはできるはずでは？

□ 論文の読み方など、具体的にわかるような講義も追加すると良いです。

→これは基本的には指導教員の仕事ですよね。ロジカル・ライティングはその入り口をになうものと考えています。

**Ｗｅｂ**

□ 二次創作の流れが定着しなくて残念でした。

□ せっかく良くできたコラムプラネットのページなので、コメントを送信した後でも修正できるようにすれば、もっと良かったと思います。

→二重投稿ＳＯＳとかもありましたね。プログラマさんと相談してみます。

□ Ｗｅｂのコメントにどーかと思うのがけっこうあったと思いました。文章を否定するのはいいと思うけど、人格にまで言及するのは筋違いだと思います。

→そうですよね。コメントは書き言葉だから、よけいに心に刺さってしまう。でも「文は人なり」。文章への批判は、どんなに限定的に書いても、どうしても人格に触れる部分を持ってしまうという宿命をになっています。たぶん、今後社会に出られてたくさんそんな経験をされるかと。そこをどう乗り越えるか、どんな工夫をしたら、抵抗なく相手に批判をうけとってもらえるかがコメント力。

□ やはり学外からの参加者と（単位がかかっている）学生とは、とらえ方が違っていて、その点がおもしろくもあり、Ｗｅｂでの話がすれちがう要因でもあったかと思います。

□ Ｗｅｂ版で上位に入れなかったのが悔しいです。

→作品数が 50 にもなると上位３作品を選ぶという投票では選びきれませんよね。投票方法を変更しようと考えています。１位と２位は１作品ずつ、３位は３作品まで選べるというのが良いかな。

受講者さん、
一般参加のみなさん、
そして学生コメンテーター「ほろさぽず」のみなさん。

拙い操船を支えてくださって、ほんとうにありがとうございました。
励ましとお叱りの両方をしっかり受けとって、来年度はもっとよい航海にしてゆきたいと願っています。
みなさまの今後に、たくさんの幸いがありますように。

船長室より